

# 数 学

## (問 題)

2014年度

〈H26081121〉

### 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は4~6ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、H Bの黒鉛筆またはH Bのシャープペンシルで記入すること。
4. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄(2カ所)に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒	万	千	百	十	一
		3	8	2	5

5. 各問題の□にあてはまる数値または式などを解答欄に記入せよ。答の√の中はできるだけ簡単にしておくこと。また、分数は、それ以上約分できない形で答えよ。
6. 途中式や計算は解答用紙には書かないこと。
7. 採点欄には何も書かないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。





問1.  $0 \leqq x \leqq 8$  とする。

(1) 不等式

$$\sin\left(\frac{\pi}{12}x\right) + \cos\left(\frac{\pi}{12}x\right) \leqq \frac{\sqrt{6}}{2}$$

を満たす  $x$  の範囲は

$$0 \leqq x \leqq \boxed{\text{ア}} \quad \text{および} \quad \boxed{\text{イ}} \leqq x \leqq 8 \quad \cdots \quad (*)$$

である。

(2)  $x$  が (\*) の範囲を動くとき、関数

$$f(x) = |x(x-5)(x-8)|$$

は  $x = \boxed{\text{ウ}}$  のとき最大値  $\boxed{\text{エ}}$  をとる。

問2. 以下の不等式(i)～(v)をすべて満たす点 $(x, y)$ からなる領域を $S$ とする。

(i)  $-x + 2y \leq 20$

(ii)  $2x + 3y \leq 44$

(iii)  $4x - y \leq 32$

(iv)  $x \geq 0$

(v)  $y \geq 0$

次の問い合わせよ。

(1) 領域 $S$ において $x + 3y$ を最大にする点 $A(x, y)$ の $x$ 座標は [オ],  $y$ 座標は [カ] である。  
このとき $x + 3y$ の最大値 $M$ は [キ] である。

(2)  $a$ を実数,  $b$ を正の実数とする。領域 $S$ において $ax + by$ を最大にする点が、(1)で求めた点 $A(x, y)$ のみの場合、 $\frac{a}{b}$ がとりうる値の範囲は

$$[ク] < \frac{a}{b} < [ケ]$$

である。

(3)  $a$ を正の実数,  $b$ を正の実数とする。領域 $S$ において $ax + by$ を最大にする点が複数あるとき、 $\frac{a}{b}$ がとりうる値は [コ] である。

(4)  $c$ を実数とし、上記の不等式(i), (ii), (iv), (v)と不等式

$$(iii*) 4x - y \leq c$$

をすべて満たす点 $(x, y)$ からなる領域を $S^*$ とする。領域 $S^*$ において $x + 3y$ の最大値が(1)で求めた $M$ であるとすると、 $c$ がとりうる最小値は [サ] である。

問 3.

- (1) 1つのサイコロを3回投げたとき、1の目が奇数回出る確率は  シ である。
- (2) 袋の中に赤玉8個、白玉6個の合計14個の玉が入っている。この袋から一度に6個の玉を取り出したとき、赤玉が2個、白玉が4個取り出される確率は  ス である。
- (3) 袋の中に赤玉  $n - 7$  個、白玉7個の合計  $n$  個の玉が入っている。ただし  $n \geq 10$  とする。この袋から一度に5個の玉を取り出したとき、赤玉が3個、白玉が2個取り出される確率を  $P_n$  とする。 $P_n$  が最大となる  $n$  の値は  セ である。

[以 下 余 白]



